

お知らせ

会社を退職しても、東京土建（土建国保）に残ることができます。詳しくは、組合事務所までご相談ください。

4月1日現在組合員数…2,028名



発行所 東京土建一般労働組合 南部ブロック会議 品川区戸越5-18-2 (3783)0471 代表者 井澤典一 定価 1部 50円 (購読料は組合費に含まれています)

シュプレヒコールで、我々の想いを訴える!

3・13重税反対全国統一行動



街行く人に「消費税減税」を訴える!

税金対策部長 石塚 良美 年度末の恒例行事となつております、3・13重税反対全国統一行動を、中小企業センターにて3月13日(木)に開催しました。 前日結構な雨が降り、心配していましたが、当日は雨も上がり、組合員74名・書記5名・他支部3名・区内建設組合(※南部建設技能組合(2名)・建設ユニオン城南支部(1名))と、昨年の78名を上回る、総勢85名の参加者で開催することが出来ました。 インボイス制度や税務相談停止命令制度等、税金に関わる厳しい状況を報告して、廃止・改善をこれから訴えていきましようという提案をし、満場一致で採択されました。 昨年復活した、下神明

駅前近から、浅間台公園のデモ行進では、実質賃金のマイナスが続ぎ、私たちの生活が苦ししい現状を「消費税を減税しろ!」「インボイス反対!」と、シュプレヒコールがあげられて、街行く人に組合員の想いを訴えました。 国会では、自公連立政権が少数与党になり、国民の会での議論が、国民の中でも税に対する関心が高まっているのか、動画を撮る人や、お店から出られてジッと見る人が見受

大井町駅前をデモ行進!



大井町駅前をデモ行進!



書記長 津田 光久 2月28日(金)「建設労働者に大幅賃上げを。建設現場に週休二日を」を

スローガンにしたイエロイアクションに、佐布・松井両副委員長、小島担当書記と共に参加して来ました。

今こそ、『賃上げ』の声を上げる時!

イエローアクション&3・6春闘中央決起集会

新橋駅前にて(イエローアクション)

まず、衆議院議員第二議員会館前にて「建設労働者の処遇改善と中小建設業者の経営安定へ、賃金・単価の大幅引き上げを実施すること。災害・被災地における復旧・復興の担い手である、地域建設産業の担い手確保を実施すること。インボ

イース制度を中止し、公共工事設計労務単価13年連続引上げを大幅引上げにつなげ、災害時の復旧作業に欠かせない、建設労働者の担い手不足解消を目指す事」をアピールするために300名の仲間が集まり、国会議員に要請を行ない、その後、場所を移して新橋駅前で行く人々にチラシを配布しました。

また、3月6日(木)には、日比谷野外音楽堂に全国から3000人の仲間が集まり、春闘勝利3・ユプレヒコールを上げ、

6中央決起集会が開催され、「全ての労働者の大幅賃上げ・底上げを!労働者への権利を!最低賃金全国一律実現!軍拡・増税ではなく、憲法をいかにし、社会保障の拡充を!」と訴えました。 会場では衆参両議員への署名を全員が行ない、労働者の仕事と暮らしの実態を明らかにし、地方組織による国政に向けた闘いと位置つけた行動とし、3000人の仲間がプラカードを持ち、シュプレヒコールを上げ、



3000人の仲間が集結(豊分会・富彌さんより)

国会へ署名を届けるためデモ行進を行いました。 3月13日に回答が出された大手企業の春闘では、満額回答が相次ぎ、要求を超えも出ていますが、中小零細企業、特に建設業への波及が望まれます。 参加して頂いた組合員の皆様、大変お疲れ様でした。感謝申し上げます。(中延分会 上野山和男)

国会が右往左往している! ◆数与党の石破政権が、維新の会の高校の授業料無償化を受け入れ来年度の予算を衆議院で通過したばかりでひと段落したと思っていれば、次の日石破首相が、昨年の衆議院選挙で当選した一年生議員を公邸に呼んで会食し、お土産に一人10万円の商品券を渡したとの報道◆ポケットマネーから出したので、問題なからうと記者会見で話したそうなので、翌日からの参議院・予算委員会では、各党の質問者からこの件を問われ、言い訳に四苦八苦していた◆ポケットマネーで15人だと150万円かかったことになるが、ポケットに入り切れない『お金』だ ◆当初は庶民感覚のある人だと思つたが、この件はアウトだ ◆他方では災害国日本で、岩手県大船渡市の山火事が酷かった ◆折からの乾燥と雨が降り、なく12日間燃え続け、ふもとの家屋に多数の被害が出て、避難している人が困っている ◆こういう人達を助けるのが、政治という事だと思つた ◆東日本大震災・福島第一原発の事故から14年が経ち、未だに帰還できない人達がいる ◆やる事が色々あるだろう!

2年連続 組織増勢を見据えることができる月間に!

組織部長 松井 広伸 1月から3月にかけて、各分会4名を目標に、春一番拡大に取り組み、支部全体で32名と、残念ながら目標の51名には届きませんでした。

若干、春一番拡大を振り返りますと、2月は加入16名・転入1名・脱退18名で3月1日付組織人員は、2018名と、1月現勢比18名減となりました。昨年同時期の20名に及びませんでした。16名の新加入者を迎え、死亡脱退が4名となる中、前月からの組織減を何とか最小限の1名減に抑えることが出来ました。

現在、1月現勢比8名減で『春の拡大月間』を迎えることになりました。この間なかなか進んでいない、コロナ禍で落ち込んだので元に戻し、『行動量』を少しでも元に戻し、仲間との『つながり』を再構築して、様々な情報を聞き取り、月間終了時点で1月現勢を超えて2年連続の組織増勢を見据えることができるよう、組合員・家族が協力して、取り組みを進めて行きましょう。

春一番拡大を終え、と休む間もなく『春の拡大月間』に突入します。 東京土建全体で7年連続して組織人員を減らしている中で、品川支部は3年振りに組織増勢を果たすことが出来ました。



春一番拡大結果&春の拡大月間に向けて

ロングアスナーで作る、 テトラポーチ

難しいの
声が多く...

さつきの会副会長
村越 千秋

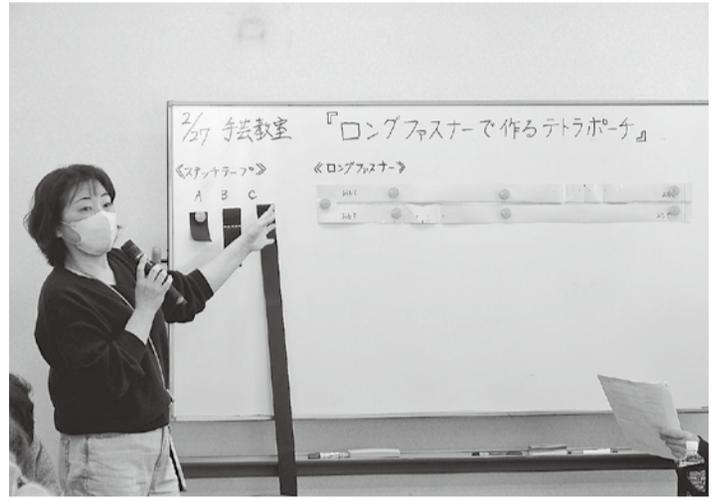
去る2月27日(木)11時より、支部会館3階にて、21名が参加し、手芸教室を開催しました。

完成すると可愛らしい作品ですが、縫う部分が多く、限られた時間内で完成させるのは難しかった為、教室内では作り方を理解してもらい、自宅で完成してもらおうようにしました。

教室内で完成出来ないことから、皆さんの満足そうな顔を見ることができず、「難しい」のお声を聞くことが多かったのは残念でした。



完成するとこんな感じです



ちょっと難しかったかも

いっぴく

保護犬と共に

豊越分会
木下 貴子

我が家には、二代目となるメスの保護犬がいます。山口県で保護されて4年前に我が家に来ました。

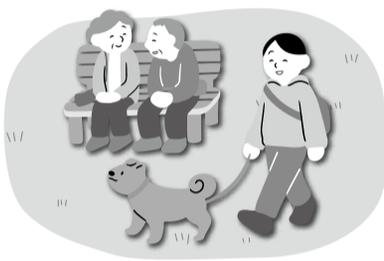
一代目は千葉から来て、14年半も生き、とても散歩の好きな犬でした。

今の犬は臆病な子で散歩に行くのが大変です。30kgもあるので、一人で行くのが年齢的きつく、夫婦で散歩するようにしています。毎日が犬中心で生活していますが、とても楽しく癒されています。

しかし、品川区は犬にとっても厳しく、ほとんど

公園内は入ってはいけないとの看板があり、入って良い公園でも芝生は禁止で通路のみ。東京23区の中で、品川区だけが犬仲間が言っていました。また、近隣から鳴き声が煩わしいとの苦情もあります。犬も猫も生き物であり、大事な家族です。犬仲間は区役所に相談しているようですが、なかなか改善されません。もっと犬を飼っている人の気持ちも理解してほしいと思います。

犬も猫も住みやすい町に、そして飼い主もマナーを守って共に生きて安心して暮らしていけるような社会を目指して行きたいです。



不安を抱えながらも、 頑張ってみていくしかない

第61回さつきの会総会開催

さつきの会会長
津田 順子

3月16日(日)冷たい雨と風で春の嵐の中、中小企業センター大会議室にて第61回さつきの会(主婦の会)総会が開催されました。

例年通りまずは令和6年度の活動経過報告、各専門部の報告、会計報告、会計監査報告がありました。

10分間の休憩をはさみ令和7年度の活動方針(案)、各専門部の活動方針(案)、予算(案)を提案すべてが無事採択されました。

私が主婦の会に携わるようになってから、何回目の総会でしょうか。少しずつ人数が少なくなり、このままだと、どんどん先細りになってしまっているのではないかと不安を抱えながら、また新しい年度を頑張っていくしかないなど改めて思いました。



議案提案の様子

品川の専門学校 品川介護福祉専門学校

旗中分会
津田 順子

年に品川区と品川区福祉協議会の連携により出来ました。

いつも土建の会議や学習会などでお世話になっている、中小企業センターの5階6階に、品川介護福祉専門学校という学校があるのをご存知でしょうか？

我が家の娘の母校でもあるこの学校は、平成7

介護福祉士は、身体又は精神に障がいがあり、介護を必要としている者のサポートをすることを業務にする人のことです。この介護福祉士という国家資格を取る為に、2年間座学や実際の福祉施設での実習で学びます。品

川介護福祉専門学校で学ぶための2年間の授業料は、品川区から貸してもらえます。

卒業後、品川区内の福祉施設に就職し3年間勤務すると、授業料は返さなくて良いので、実質無料で学べ、開校以来800人以上の人材を、品川



中小企業センター 5F・6Fにある
「品川介護福祉専門学校」



学校の入り口はこちら

ふらり品川

その②①⑥

区やその他の各福祉施設に送っています。

品川区では65歳以上の方が約8万人おり、その内75歳以上が58%ということで、自分も含め介護を必要とする人が増えていくことを考えると、確実に人材をキープ出来るこのやり方は、ものすごく理にかなっていると思います。

中小企業センターに行つた際には、いずれ自分が世話になるかもしれない若者が、頑張つて勉強しているんだらうなと思いで出してください。